



# 駒中だより

こ ころざしの高い生徒  
ま 学び続ける生徒  
が 我慢できる生徒  
た 他を思いやる生徒

台東区立駒形中学校 令和2年9月1日発行

## 現代を生きる大人として

校長 渡邊 宏之

例年より短い3週間の夏休みが終わり、8月24日から2学期が始まり、1週間がたちました。おかげさまで生徒は元気に、2回目の定期考査や生徒会役員選挙など、これから迎える活動に対して、意欲的に取り組む日々を送っております。さて、今年の夏は、戦後75年となる夏でもありました。新型コロナの影響で追悼式等縮小傾向でしたが、戦争について後世に語り継ぐために、様々な報道がなされていきました。その中で、8月14日付の読売新聞に、当時20歳前の教員であった方の、以下のような内容の投稿記事がありました。

8月15日の玉音放送の翌日に、校長が朝礼で「皆さん、心をしっかり持って生きてください。これからの日本は、あなたたちにかかっています」と語りかけました。しかし私は、朝礼後に担任をしていた4年生の女子児童に「日本は戦争に負けたのではありません。やめようと言ったのです。これからもう一度立ちあがり、敵が攻めてきたなら、家にある小刀や包丁を持って敵と戦わなければなりません」と涙ながらに語りました。そして、児童に作文を書かせると、校長の話を理解した児童もいましたが、多くの児童が私の言葉を大切にすると書いてありました。その後、私は最後まで戦うように強いた自分が恥ずかしく、戦争というものに対し教育が果たす役割の怖さを、戦後の授業で伝えてきました。

この記事を見たとき、改めて未来を担う子供たちの教育に携わる者として、また大人として、身の引き締まる思いがしました。そして、現在の社会全体の課題である新型コロナウィルス感染に対しても、大人全体がどのような姿勢を示すのかも問われていると改めて感じました。正しい知識や予防法を伝えること、偏見や差別をはじめSNS等への心無い書き込みなどを許さない心を育てることは、我々大人が率先して語るべき現代の課題の一つであり、学校でも継続して取り組んでいくべきことであると思っています。

<部活動 3年生引退大会結果>

○バスケットボール部

男子 vs 桜橋中 (15-21) vs 忍岡中 (22-18) vs 上野中 (18-23)

女子 vs 浅草中 (22-35) vs 忍岡中 (32-14)

○バレーボール部 [御徒町台東中戦以外は、1セットマッチ]

vs 柏葉中 (0-1) vs 忍岡中 (0-1) vs 御徒町台東中 (2-0)

○野球部

vs 柏葉中 (4-1) vs 桜橋中 (1-8)

○バドミントン部

男子 ダブルス 3位

女子 シングル 2位

○ソフトテニス部

3位

○陸上競技部 (東京都中学生夏季陸上競技大会 (区部) 東部地区予選会)

男子 3年 100m 12秒 62 12秒 85

男子 2・3年 1500m 4分 37秒 89



<9月・10月の予定> ※追加・変更の場合もあります。

9月 (長月)	10月 (神無月)
1日 (火) 安全指導	1日 (木) 都民の日【授業あり】
5日 (土) 土曜授業 (道徳の授業等を公開します)	3日 (土) 土曜授業
10日 (木) 避難訓練	7日 (水) 台東区教員研修
14日 (月) 定期考査 (9教科) 始 (~16日)	9日 (金) 避難訓練
17日 (木) ミニ駒運動会 学校公開始 (~19日)	21日 (水) 6時間授業
18日 (金) 3年生到達度テスト	28日 (水) 教職員定時退勤日
19日 (土) 「中学校へ行こう」	
23日 (水) 19日の振替休業日	
30日 (水) 教職員定時退勤日	